

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	プレガバリンが皮膚の痒みや睡眠などの生活に与える影響
当院の研究責任者	皮膚科 三間芳人/五十棲健
本研究の目的	皮膚そう痒症では既存のステロイド外用や抗ヒスタミン薬が効かないことが少なくない。現在の治療では限界があり、痒みが残存することがほとんどであり、新しい選択肢を模索していく必要がある。そこでプレガバリンは神経痛に使われる鎮痛薬であるが、帯状疱疹後の痒みを改善したり、皮膚掻痒症の痒みをよくすることも度々経験している。そこで我々は鎮痛薬としてプレガバリンを併用している皮膚そう痒症の患者さんを対象してプレガバリン内服前後での一日の中の痒み変化や、睡眠の質や生活の QOL に与える影響について検討することとした。
調査データ 該当期間	西暦 2025 年 4 月から 2026 年 03 月までの情報を調査対象とする
利用又は提供を開始する 予定日	西暦 2025 年 06 月から
研究の方法 (使用する情報)	●対象となる患者さま 皮膚の痒みがあつて以前にプレガバリン内服されたことがある患者様 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する 患者背景(年齢、性別、現病歴、既往歴、合併症、薬歴等) 生理学的検査値(身長、体重、BMI、血糖など) 血液学的検査値 生化学的検査値 痒みスコア PP-NRS(10 点満点で痒みを自己評価) 睡眠や日常生活の QOL への影響の問診
試料/情報の 他の研究機関への提供 及び提供方法	■他の機関への試料・情報の提供はない
研究代表機関	東京警察病院
個人情報の取り扱い	本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように加工した上で、細心の注意を払い安全に管理します。本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめ、英語論文や学会で発表させて頂く場合がございます。
問い合わせ・連絡先	東京警察病院 皮膚科 三間芳人/五十棲健